



繪入
改正

寛永行幸記

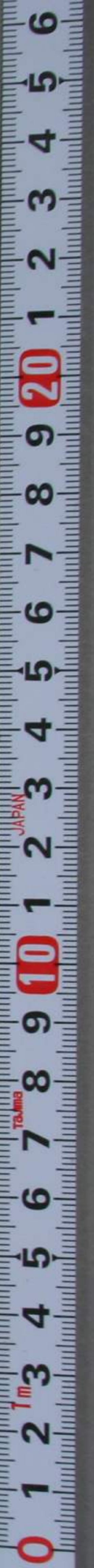
中

伏所持

地

中
八
五
二
冊
三

73
6211
2



73
6811
2

御幼章之記卷中

○目錄

雜樂

詔飲沛會 長沛他信

沛馬市覽

沛社

獻上沛水

公家死被進沛左刀求

公家死被造白漆具服品



去五味均平藏



一 御門跡方養女中_中被遣_中

一 御馳走方_中決_中

一 御宿位_中決_中

一 御清御_中決_中決_中

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



御約章之記卷下



○ 舞樂

七月

萬歲樂

地下六人

延喜樂

六人 祭良_中 天_中寺_中 京_中

輪臺

堂上_中 一人 中_中院_中 野_中 作_中

青海波

同 二人 行_中 過_中 待_中 延_中 西_中 洞_中 院_中 待_中

敷手

一人 天_中 王_中 与_中 京_中

陵王

一人 祭_中 良_中 京_中

納蘇利

二人 京_中 京_中

子秋樂

乞_中 樂_中 心_中 与_中 京_中 京_中

○和歌清會清沙

七月

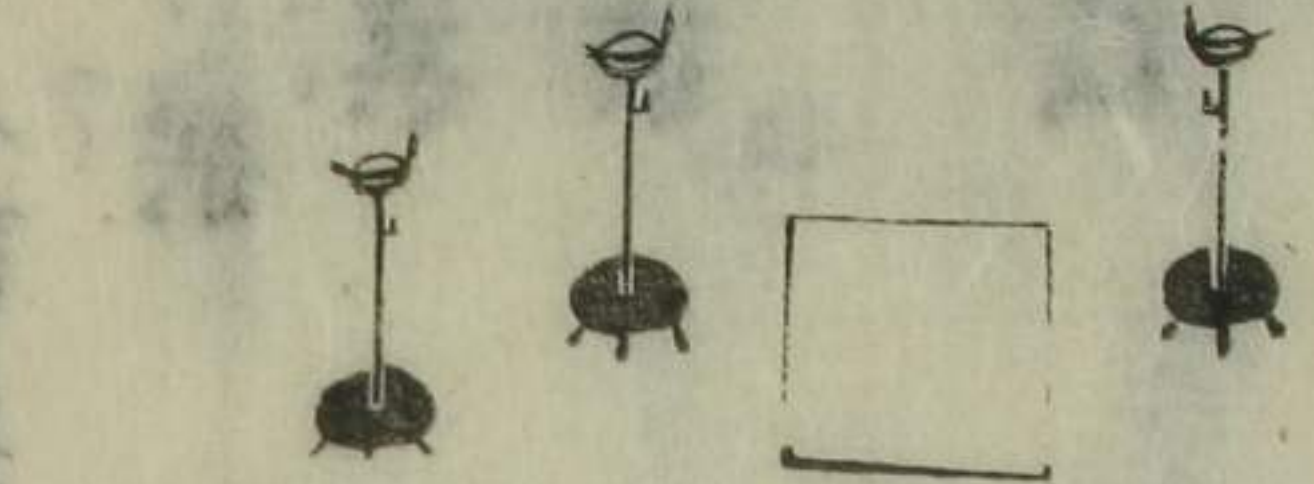
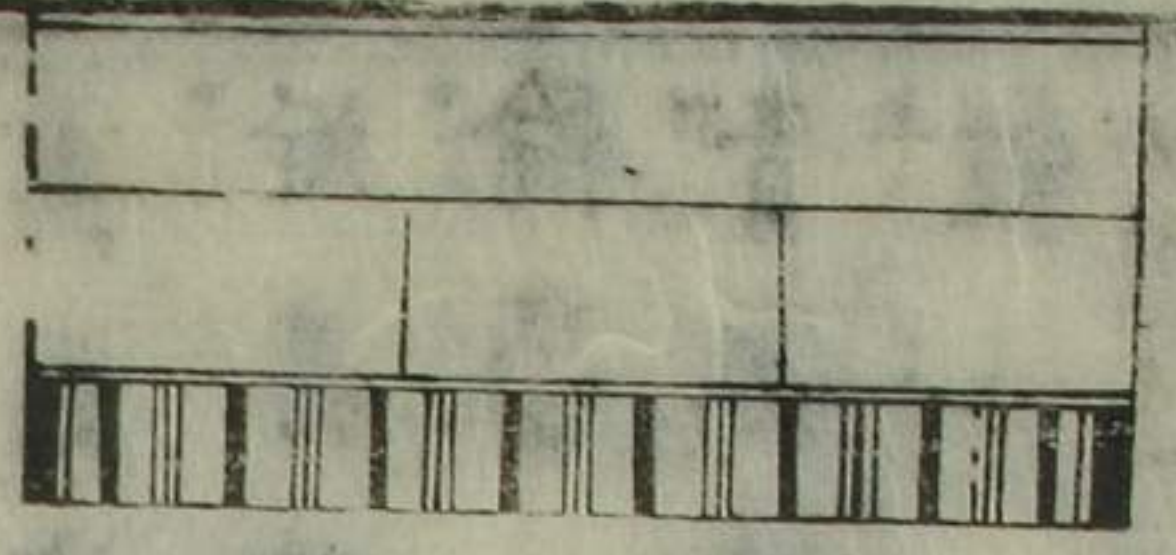
大行所云
近衛殿
伏見殿
徳田殿
三条殿
鳥丸殿
徳田殿
九條殿
新原殿

○江中納言

於泉中将

西二条

鳥丸からり付立人



一系殿
八系殿
三系殿
九系殿

長坂大納言殿
紀伊大納言殿
後河内大納言殿
水本大納言殿

清會之和歌

竹契遊年

清製

是乃のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

異作のよりいかなるも異作乃成る人ぬ色ハ子母も

返一位藤原忠実九条

後醍醐天皇御書

内大臣藤原康道九条

皇太子御書

中納言藤原実隆九条

右大臣御書

右大臣言藤原実隆九条

左大臣御書

左大臣言藤原教平九条

末を記清世もあはれながら竹のかりぬえをよきつして

右大臣言藤原忠実九条

あつりな記書のみよあはれなくひやけふなる月々の呉竹

指中納言藤原実隆九条

さうぬね乃よりいかにいさなり此竹のよりのよれうを

右大臣言藤原実隆九条

若輩かぬねのいりあつりな記書のみよあはれなくひやけふなる月々の呉竹

右大臣言藤原実隆九条

若輩かぬねのいりあつりな記書のみよあはれなくひやけふなる月々の呉竹

近一位藤原実直

おとよ オトヨ 祿一 吳竹の世に於りて

近一位藤原定滋

榎うへ エノウヘ 祿一 吳竹の世に於りて

権大納言藤原偏光

かこ カコ 祿一 吳竹の世に於りて

権大納言藤原宣孝

すゐ スイ 祿一 吳竹の世に於りて

権中納言藤原実直

たえ タイ 祿一 吳竹の世に於りて

参議宰相藤原光賢

い イ 祿一 吳竹の世に於りて

権中將藤原为頼

い イ 祿一 吳竹の世に於りて

侍从藤原忠定

い イ 祿一 吳竹の世に於りて

神祇伯雅凍王

い イ 祿一 吳竹の世に於りて

中文大進藤原経廣つひのり

馬代らありに記異行乃記引ら記のふおん

少納言菅原為通なり

おのり津代のきく一並なる行乃と記ふおん

行少納言藤原つむぎ

と記ふおん

行中將藤原光親みつちか

記ふおん

行大納言藤原資房すけふさ

記ふおん

行大納言藤原之善のよ

記ふおん

行中納言藤原宣衡のりか

記ふおん

侍従藤原基定もとさだ

記ふおん

侍従藤原具記もとつね

記ふおん

かお藤原為高 たけもと 下波象

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

中務少輔藤原泰隆 たけむら 藤原

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

将長 しやうぢやう

おとさかみ たけもと

少将源重実 しやうしやう げんぢゆう

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

中納言藤原光家 ちゆうなごん とうげん

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

覺除 かくじゆ

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

考性 かうせう

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

道周 みちしゆう

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

公海 こうかい

あつらぬまゝにけ行きたりおとさかみ たけもと

常 糸内流

意のあふせそめ竹のそまをんとあつらへせはるこころなる
か
見定

ふゆのまじりつちをさしほる世のためにおよめはるる
寛真 二巻後

うもあふらりれ竹やえこのを乃こきりに改りせらん
良光

秋津別のおきてあはれいそふおのりつち竹をたけおりて
ふた十二首の和歌は書次書おほりて改く

○八日 津馬 津覽

○九日 津結 次書

かいこ

山科の新巻

毛ろろ 唐代の巡撫いづつりごとと天下おかや

あしそくそうおのりそらあまをこころいよけえ

たりまてや今いほはれあつこととま湯は

あふるふの湯はりつていそくくつ世れあらとあ

り ちいかん乃志げこととつちの時からぬねれ

あふくねもらとせのねと 古今とくひる

秀之代の先でふるりしけりし時と云

二十良

新波

新友

大が次良

後又之良

七席

田村

表友

源右衛門

長右衛門

長友

七大吏

源氏供書

新友持書

又之良

新九良

長友

二十良

新友持

表友

少之良

長右衛門

長友

七六丈

道成寺

新友

九良表求

小九良

又之良

七席

三橋

表友

源右衛門

長右衛門

長友

七席

藤永

新友

九良表求

小九良

又之良

七六丈

熊坂

表友

少九良

小九良

長友

三十

櫻

新友

又之良

新九良

又之良

長友

郡中

○ 將軍様より

献上清酒

黄金

三千兩

白銀

三千枚

清呉服

二百

兼地高荷法清長持三十棒入
清ゆん唐織

紅

二百斤

清色靴

道風筆あう祿の歩枝又付

沈香櫛

壹本

長サ二尺中まわりは五寸

らんけい

百巻

久く

玳瑁

三拾枚

麝香

五斤 純の大わらめ入

三幅一對

牧溪筆親着た衣籠

清糞束

清唐棧二 籠子小兼地高荷法

清古刀

二振 一文子 金線の清袋入清糸

清馬

十七 皆具た

清寢殿清道具

久くま

清花瓶

大一つ 漆なり

清燭臺

漆 金なり

清香爐

孔雀 金なり

一 佛香爐 柳子 金作り

一 佛花桶 金作り

一 佛硯 内二つ古代金

一 佛衣櫛 二膝 内き膝は金作り

一 佛香爐 三十枚

一 佛臺 毛彫き 一佛風爐

一 佛釜 ありき 一佛水さし

一 佛茶碗 二 一佛ならぬ

一 佛水翻 一佛扇綱 一佛蓋金

右何れも金作り

一 佛膳 金作り 佛膳お小敷七十二文内おさし

二つ佛ゆづり一つ金作り

一 佛膳 金作り

一 佛重硯 三十枚 佛結梨地金作り 佛會所

一 佛文臺 一膝 木目お

以上

○ 大佛取様しり 献上佛水

一 佛衣刀 一腰 兼一文字 金作り 佛結梨地金作り

一 清平本 一 軸 金の赤枝よ付

一 朗詠集 一 部 行成筆あり

一 萬葉集 一 部 七冊 定家筆

一 洲明圖卷 一 幅 子昂筆あり

一 清和何と梨子地（たのまき）の荷絵あり

一 淨伽羅 十斤 紙の紫こ入 長二尺幅一尺六寸

一 麝香 五斤 紙の大小ありあり入

一 蜜 六十斤 大壺二入 紅の網掛ル

一 淨馬 五匹 皆かりたよ

一 淨呉服 百 梨子地（うらな）の荷絵 金のめづいの長持

一 金子 九 棹（さ）入ゆらん産織

一 金子 二千兩

○ 同淨臺様より一 缺と

一 淨呉服 三拾 梨子地（うらな）の荷絵 長持三棹入ル

一 黄金 二百兩

○ 將軍様より 中文様（あづまざむらひ）の進物

一 白銀 千枚

一 呉服 六拾 梨子地（うらな）の荷絵 長持十棹入ル

紅糸 百斤 一白輪子 五拵也

緋紗綾 五十卷

沉香 百斤 紅の細よ入

麝香 二斤 糸のちりめこよ入

女院様へ 右津同也

將軍様より 女一丈様へ進物

一白銀 二百枚 一金瀾 拵也

一呉服 三十拵 糸比前法を拵こよ入

一白糸 女二丈様へ進物

一白糸 二百枚 一尺半 二尺目 三寸入

一呉服 二拵 糸比前法を拵こよ入

一白糸 大津雨様より 中丈様へ進物

一白糸 五百枚

一呉服 二拵 糸比前法を拵こよ入

一沈香 一編子 五拵也

一伽羅 五斤 糸の糸一ツよ入

一白糸 女院様へ

一白糸 五百枚

一 呉服 三指 紫より比毛持六棒より入ル

一 沈着 一 纏子 二指 紫

一 伽羅 五竹 鉄の糸より入ル

○ 同 女一丈様へ

一 白紙 百枚

一 呉服 二指 紫より比毛持六棒より入

一 浄衣や浄り 一 浄いのかたより

○ 同 女二丈様へ

一 白紙 百枚 一 呉服 二指 同毛持より入ル

一 浄衣や浄り 一 浄いのかたより

○ 紫裏様は献上 浄衣様より

一 黄金 二十枚 一 浄呉服 三指

○ 中宮様へ 同

一 黄金 二十枚 一 浄呉服 二指

○ 女院様へ 同

一 黄金 二十枚 一 浄呉服 二指

○ 女一丈様へ 同

一 浄呉服 二指 一 浄いのか 念紙

○女二文様

鳥丸大納言

一 山長

二 指

一 正内家

金法

山

○云家元の字を清古のり

一 雲次

一 進清殿

一 守家

鳥丸大納言殿

一 守宗

一 一条殿

一 准慶

西甚守宰相殿

一 安供

二 条殿

一 信包

清軍の大納言殿

一 行年

九 条殿

一 守宗

清軍の中納言殿

一 長光

一 尊日殿

一 則宗

柳永宰相殿

一 助吉

八 条殿

一 女房

花山院宰相殿

一 信國

伏見殿

一 行年

日野中納言殿

一 次吉

高松殿

一 助依

伏見中納言殿

一 國村

春日殿

一 長光

西園院宰相殿

一 守家

九条殿

一 助依

中納言殿

一 東國光

中院殿

一 長光

水谷中納言殿

一 守家

花山院殿

一 長光

鳥丸大納言殿

一 東國俊

西園寺殿

一 新藤五

藤高升殿

一 菊光

日野大納言殿

一 西蓮

白河殿

右八七月二條津城
將軍採りて遺作

一 白旗 二百枚

色旗殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

九条殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

二条殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

一条殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

舊目殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

八条殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

伏見殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚

高松殿

一 小神 二指

一 白旗 二百枚 一小神 指

舊目志の殿

一 白 旗 八 十 枚 一 小 神 十

廣 橋 守 相 殿

一 白 旗 柳 原 守 相 殿 一 月

鳥 丸 守 相 殿

一 白 旗 藤 右 衛 門 儀 殿 一 月

花 守 井 中 約 殿

一 白 旗 次 泉 中 約 殿 一 月

動 渡 吉 兵 衛 殿

一 白 旗 六 束 少 約 殿 一 月

山 科 少 約 殿

一 白 旗 玄 河 門 中 務 殿 一 月

中 院 侍 從 殿

一 白 旗 江 東 侍 從 殿 一 月

赤 橋 式 部 殿

一 白 旗 久 我 中 約 殿 一 月

日 野 中 約 殿

一 白 旗 花 守 井 侍 從 殿 一 月

三 束 侍 從 殿

一 白 旗 岩 倉 本 五 殿

一 白 旗 之 十 枚 一 小 神 十

又 辻 右 兵 衛 殿

一 白 旗 中 山 中 約 殿 一 月

持 守 井 三 位 中 約 殿

一 白 旗 德 大 寺 中 約 殿 一 月

竹 内 形 部 殿

一 白 旗 大 炊 通 門 侍 從 殿 一 月

一 白 旗 二 十 枚 一 小 神 八

滋 野 井 中 約 殿

一 白 旗 竹 屋 兵 衛 殿 一 月

一 白 旗 之 十 枚 一 小 神 八

高 倉 殿 三 位 殿

一 白 旗 圓 中 約 殿 一 月

白 河 二 位 殿

白紙 二十枚 一小神 十

一月 園少納屋 一月

一月 庭回少納屋 一月

一月 河精待込屋 一月

一月 井落寺納屋 一月

一月 樋口少納屋 一月

一月 小河精待込屋 一月

一月 横井待込屋 一月

清水寺待込屋

水田少納屋

東坊城少納屋

大森少納屋

平松待込屋

次泉少納屋

西坊城少納屋

勢尾待込屋

綾小路少納屋

一月 清宗寺大納言 一月

一月 松本待込屋 一月

一月 日野少納屋 一月

一月 花園待込屋 一月

一月 久世少納屋 一月

一月 持明待込屋 一月

一月 小倉待込屋 一月

一月 兵部少納屋 一月

一月 水田中納屋 一月

清水寺待込屋

比邊待込屋

西河待込屋

万里寺待込屋

紐波待込屋

中川待込屋

中法門待込屋

梶井待込屋

藤谷中納屋

一月 白紙 二十枚 一小神 又 正親町侍屋

一月 高倉侍屋 一月 沖小島侍屋

一月 指小侍屋 一月 表辻侍屋

一月 阿野侍屋 一月 伯侍屋

一月 宏倉侍屋 一月 虎橋侍屋

一月 梶井侍屋 一月 西本侍屋

一月 白紙 又十枚 一小神 又 虎橋侍屋

一月 同登侍屋 一月 藪侍屋

一月 白紙 二十枚 一小神 又 七条侍屋

一月 作部らふのたゆ 又 満丸

一月 大千丸 一月 彈正今回丸

一月 左京右史 一月 兵部大権

一月 右衛門かげゆ 又 右京右史

一月 極鷹 一月 津島人

一月 塩小島しほのこ 又 倉橋人

一月 白紙 十枚 候理人

一月 西登あめのくさ 又 松下氏

一月 西宮あひらの 又 相倉氏

一月 鴨子将監 一月 岩崎本工

一月 月内将監 一月 平松将監

一月 月内将監 一月 森越前

一月 十枝 一月 山形左衛門

一月 月安藤 一月 立入河内

一月 十枝 一月 世續左衛門

一月 河橋依波 一月 松波左衛門

一月 大沢左衛門 一月 官務

一月 大外記 一月 洞子左衛門

一月 土山渡河 一月 之上月内

一月 洞子左衛門 一月 洞将監

一月 村雲左衛門 一月 世左判官

一月 世伽井院 一月 武田左衛門

一月 出納共之 一月 月将監

一月 羽倉玄妻 一月 大西采女

一月 小野澤正 一月 井実形初

一月 小野澤正 一月 井実形初

一月 小野澤正 一月 井実形初

一月 小野澤正 一月 井実形初

一 同 吉田兵部

○ 御門跡方

一 白旗 百枚 一小神 廿

仁報寺殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

孫右衛門殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

照寺院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

梶井殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

竹内殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

大學寺殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

妙法院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

一乘院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

知恩院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

法心院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

三寶院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

和順寺殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

東波院殿

一 白旗 百枚 一小神 廿

実相院殿

○ 禁裏様女中方

一 白旗 百枚 一小神 廿

上臈殿

一月 大納言車

一月 長福屋

一月 世敷 一小神 六

一月 新内侍屋車

一月 世敷 一小神 六 清見七人

一月 文月屋車 小神 一月 侍屋

一月 大納言屋車 小神 十 新大納言屋車

一月 梅小路屋車 一月 清根屋

一月 宣旨屋

一月 白旗 六十枚 一小神 六 那知屋

一月 大納言屋 日 中納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

一月 大納言屋 日 大納言

白紙 二十枚 一小神 一

出羽屋 日

同 うちと屋 日 一回

河内屋 日

同 同防屋 日 一回

停務屋 日

同 播磨屋 日 一回

下野屋 日

白紙 十枚 一小神 二

宋女取 日

同 おさい 日 一回

九すゑ取 日

同 あらや 日 一回

...

白紙 六百枚 日 一回

...

○ 姫女様女中方、...

白紙 八十枚 一小神 十

中納言屋 日

同 中務屋 日 一回

...

同 おいさ 日 一回

...

白紙 二十枚 一小神 十

梅家使屋 日

同 かね屋 日 一回

...

白紙 二十枚 一小神 一

...

同 播磨屋 日 一回

...

同 豊後屋 日 一回

...

同 大色屋 日 一回

...

白旗 二十枚 一小神 二

らんどう屋 ながさ

白旗 倭後屋 びんご 一日

おたし屋 日

白旗 越前屋 えちぜん 一日

おまんこの 日

白旗 おやく屋 日 一日

やこおらの 車

白旗 ちやくおらの 日 一日

おころ ながさ

白旗 十枚 一小神 三

おさし

白旗 おまこ 日 一日

おふう

白旗 ちやく 日 一日

御物 ながさ

白旗 ちやく 日 一日

御物 ながさ

白旗 十枚 一小神 二

おらや ながさ

白旗 おいと ながさ 一日

おすあふ 日

白旗 百六十枚

女九人 日

白旗 八十枚

おすあふ 日

白旗 百枚

女八人

○女院様女中の方へ

白旗 六十枚 一小神 十

一位 か 屋車

白旗 御小汚屋 おしろのこごち 一日

おしろ か 御中汚屋

白旗 小汚屋 こごち 一日

おしろ か 御中汚屋

○市行幸御池之方

一 禁裏様

井伊掃部頭

板倉周防守

一 中宮様

酒井雅樂頭

一 女院様

土井大炊頭

一 姫文様

松平左衛門大進

一 禁裏御女中方 伴丹精麿守

一 扨家方

小笠原左衛門大進

一 親之家

小笠原左衛門大進

小堀左衛門守

中村左衛門

石川左衛門

小味左衛門

友川左衛門

次田左衛門

角南左衛門

中山左衛門

一 門跡方

松平下総守

観音寺

松平河内守

新庄左衛門

松平式部守

相村左衛門

松平周防守

松平右衛門

松平越中守

高西左衛門

松平内膳正

水野隼人正

戸田周防守

丹波式部守

小田原源吉

松原信春吉

海口信重吉

藤田信俊

長谷川刑部守備

片相之松正

片相出守吉

吉本氏松の権

石川信重吉

小野忠久守

吉川守備

松原石原

一 樂人

竹中権兵衛吉

横山右伏吉

井上清路吉

花房源次郎

松平丹波吉

水野日向吉

牧野駿河吉

戸田左門

菅原織部伏

森岡安次郎

末吉源次郎

水河守備

お美保焼方書

中園下総書

保科肥後書

高力持津書

堀丹後書

海江伯耆書

依久岩大抵書

細坂淡路書

津沼及元

長岡守監

石原法左衛門

二回長左衛門

小川基左衛門
平井重政

一 大名宛

一 猿樂

○ 津官位と次第

一 八月十九日阿野中納言以中将五人 勅使として

大津所様大にうてたりまのいとを改大に

一 轉任をうられ候へとも津移退あをうられ候

一 將軍様存存云八月十八日よ 津幕内の津州

駿河中納言格 大納言 森義化右衛門尉

尾張中納言格 大納言 松平長門守左衛門尉

紀伊中納言格 大納言 細川越中守左衛門尉

水戸宰相格 中納言 系橋若狭守左衛門尉

松平隆興^{しんけい}もも屋 中納言

松平隆厚^{たかあき}もも屋 中納言

松平隆茂^{たかむね}もも屋 中納言

松平隆盛^{たかむね}もも屋 中納言

松平隆文^{たかぶん}もも屋 中納言

松平隆武^{たかぶ}もも屋 中納言

松平越前^{えちご}もも屋 中納言

上松原^{かみまつばら}もも屋 中納言

松平新助^{しんすけ}もも屋 中納言

伊達^{いただ}もも屋 中納言

井伊^{いゐ}もも屋 中納言

本國^{ほんくに}もも屋 中納言

松平下総^{しんぺい げさう}もも屋 中納言

○借清清猷^{しんせい せいぎ}もも屋

金清木具

初猷^{はつぎ} あさき 借清^{しんせい}もも屋

あまぐりもも

二猷^{ふたぎ} うらけ 借清^{しんせい}もも屋

かろすもも

三猷^{さんぎ} まる物 借清^{しんせい}もも屋

七の清^{しちのせい}借清^{しんせい}もも屋

清本^{せいほん}借清^{しんせい}もも屋

あへまも

清湯^{せいとう}借清^{しんせい}もも屋

たこ 垢け ー

沸二 せんらん おまかせ 沸け 綱

さめ ー 沸ちるあつあ

沸三 こじ 屋さる ー あいのり

すー かせう 沸け 綱 こが

沸五 まじすめ

うろすこ さうもて 沸け

沸六 地紙書盛 ー 飲桶とつ

かゝこ くまたと さすこ 沸け ー

沸六 ー ま ー い

こまうり ー 沸け 籠

沸七 ー あ ー

こもり 沸け 籠 ー ん あ

沸かろく お ー

ー あ の あ ー ー あ ー

あ 沸 所 様 ー あ ー

沸 葉 子 ー あ ー あ ー

右ハ初日の供沸かり後日ハ七五之の

